



2024年1月31日

## 新型クロスオーバーSUV「MAZDA CX-70」を初公開

-北米市場で商品ラインアップを強化、電動化技術を全グレードで採用した2列シートミッドサイズ SUV-

マツダ株式会社(以下、マツダ)は、北米事業を統括する「マツダノースアメリカンオペレーションズ(Mazda North American Operations)」が新型クロスオーバーSUV「MAZDA CX-70(マツダ シーエックスセブンティ)」を、現地時間の1月30日に初公開したことを発表しました。

CX-70は、マツダのラージ商品群の第3弾<sup>\*1</sup>であり、重点市場と位置づける北米<sup>\*2</sup>市場向けに開発された2列シートクロスオーバーSUVです。マツダらしいひと中心の思想による走る喜びと環境安全性能の両立に加えて、活動的なお客さまのライフスタイルと合致するようなデザインと機能性を備えており、米国およびカナダで今春の発売を予定しています<sup>\*3</sup>。



MAZDA CX-70(北米仕様)

CX-70の導入により、マツダは2列シートミッドサイズSUVセグメント<sup>\*4</sup>へ新たに参入。需要が堅調なSUVラインアップ<sup>\*5</sup>を拡充しながら、北米におけるビジネス成長およびブランド向上を図ります。また、CX-70は全グレードがプラグインハイブリッドシステムまたはM Hybrid Boost(48Vマイルドハイブリッドシステム)の電動化技術を採用しており、市場ニーズへ適合させながら同地域における電動化を加速させます。

CX-70のコンセプトは「Passion Pursuer(情熱の探求者)」です。好きなことや興味があることへの挑戦を楽しむ、前向きで活動的なお客さまの嗜好に合わせたスポーティなデザイン、ゆとりある実用的な荷室空間を備えています。

デザインにおいては、デザインテーマ「魂動(こどう)–SOUL of MOTION」にもとづき、生命感を表現しています。また、力強い造形の前バンパー、新デザインの21インチアルミホイール<sup>\*6</sup>、各所に施された黒色パーツが特徴的なエクステリア。加えて、鮮やかさと深みをあわせもつ赤系色のバーガンディ<sup>\*7</sup>を基調としたインテリアを採用し、アクティブなライフスタイルを表現しています。

荷室空間には、後方開口部からスイッチ操作で 2 列目シートを倒すことができる、電気式のリモートフォールド機能を採用。また、2 列目シート折畳み時でもリアの掃き出し口からフラットになる床面や、常備品などを入れる三つの床下収納スペースなど、活動的なお客さまをサポートする機能を備えています。

安全性能では、最新の「クルージング&トラフィック・サポート (CTS) 緊急停止支援機能付」\*8を採用。CTSの使用時、手放し運転やドライバーの閉眼や脇見を検出した場合に、ドライバーへの注意喚起を段階的に行います。注意喚起をしてもドライバーの状態に変化がない場合は、車両の減速・停止を支援し事故時の被害軽減を図ります。ひとを中心に考えるマツダ独自の高度運転支援技術コンセプト「MAZDA CO-PILOT CONCEPT」に基づき、心と身体を見守る技術で誰もが安全・安心・自由に移動できる社会に貢献します。

パワートレインは、3.3L 直列 6 気筒ガソリンエンジン(ターボチャージャー付)に M Hybrid Boost を組み合わせた「e-SKYACTIV G3.3」と、2.5L 直列 4 気筒ガソリンエンジンと電動モーターを組み合わせたプラグインハイブリッドシステム「e-SKYACTIV PHEV」の 2 種類を用意\*9。後輪駆動ベースの新世代アーキテクチャーとの組み合わせにより、意のままにクルマを操る楽しさと優れた環境性能の両立を目指しました。

さらに、トレーラーの連結をサポートする「トレーラーヒッチビュー」\*10 を装備するとともに、5,000lbs のけん引能力\*11、1,500W 給電機能\*12 など、活動的なお客さまをサポートする機能を採用。運転だけでなく、人生を共に歩むパートナーとしての機能を充実させています。

マツダは、今後も「ひと中心」の価値観のもと「走る喜び」を進化させ続け、お客さまの日常に移動体験の感動を創造し、「生きる喜び」をお届けしていくことを目指してまいります。

以上

---

\*1: 第 1 弾は「MAZDA CX-60」(導入市場:欧州、日本、その他)、第 2 弾は「MAZDA CX-90」(導入市場:北米、その他)となります。また、第 4 弾として「MAZDA CX-80」(導入市場:欧州、日本、その他)を予定しています。

\*2: 米国、カナダ。

\*3: 以降、メキシコとオーストラリアでの導入を予定しています。

\*4: マツダ基準による分類です。

\*5: 米国では現在、「MAZDA CX-90」「MAZDA CX-50」「MAZDA CX-5」「MAZDA CX-30」を SUV としてラインアップ。

\*6: または 19 インチのアルミホイールを設定。市場やグレードにより、アルミホイールの設定は異なります。

\*7: ほかにブラック、グレイジュ、タンの内装色を設定。市場やグレードにより内装色の設定は異なります。

\*8: CTS の設定は、市場やグレードにより異なります。機能には限界があり、その効果はさまざまな条件により変わります。システムが作動しても、衝突や路外逸脱を完全に防止できるものではありません。運転者には安全運転をする義務があり、「CTS 緊急停止支援機能付」作動に伴う責任は運転者にあります。機能を過信せず安全運転を心掛けてください。

\*9: 米国のパワートレインラインアップ。市場により、パワートレインのラインアップは異なります。

\*10: トレーラーヒッチビューを使用するにはマツダ純正トレーラーヒッチの装着が必要です。設定は、市場やグレードにより異なります。

\*11: 市場やグレードにより、けん引能力の設定は異なります。

\*12: プラグインハイブリッドモデルのみの機能です。